

報

方町

発行所
伊方町 伊方局38-0211
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03

編集
伊方局38-0211

印刷所
豊予 八幡浜市松柏 22-0144

4月の紙面

- 二面……国民健康保険法が改正
60年度町の決算報告
- 三面……2月23日から所得申告
民話と伝説「田之浦」・健康の窓
- 四面……民生委員・えひめ家族賞
- 五面……成人式・まちの地名考①
- 六面……児童手当支給範囲変わる

ふるさと再発見

19

時代とともに店の様子も

手のひらに硬貨を握り占め、お店屋さんへ急いだ子供のころの思い出は、だれもが持っていると思います。時代とともに、店の様子もずいぶん変わりました。

町内で日用雑貨品を販売している商店は五十五店舗(六十年商業統計調査結果)あり

ほとんどが個人経営の小規模店ですが、一部スーパーマ

ネット形式の店も見られるようになってきました。以前の商店といえば「駄菓

子屋さん」のイメージそのものでした。うす暗い、狭い店内に菓子類とわずかばかりの

カズエさんが嫁いで来てから店を始められたそうで、三



テレビマンガの主人公のガム・チョコレートなど、くじ類が並ぶ店内

十年以上にもなりました。当時は、九町にも店の数は少なく、店といってもわずかな日用品と菓子類を並べた程度だったそうです。

お客さんも近所と子供たちが相手。飴(あめ)やガム、それに五円・十円のくじ類が喜ばれたそうです。今でも、

当時を思い出してか、帰省した人がなつかしそうに訪ねてくることもあるそうです。

昭和四十年ごろになると客の求めも多様化。しだいに店頭で置く品物も増やざるを得なくなりました。そして今

では、菓子や日用雑貨のほか、くずし・野菜・果物・パン・冷凍食品まであります。

近くの人でも、一度来て希望の品物がなかったら自然に足が遠のくそうで、商売もことのほか厳しいようです。「以前は人も大勢いたし、食べる

くらはあつたが、最近では車で八幡浜あたりに出かけてまとめ買いをする人が多く、小使いもうけにもなりません」と、話す得能さん。さみしさを隠しきれない様子でした。

広域化進む

町の商業の現状は、新国道の整備により八幡浜圏への距離が大幅に短縮。同圏内への大型店の進出も進みます。広域化が進んでいる。

五十六年に町と商工会が行った経営実態調査によると、店舗面積が六十平方メートル以下の商店は、全体の八〇近くを占めて

ている。また、同時に行った消費者買物調査では一百万円以上になると八割以上が町外で買物しているようである。

小規模で分散していることなど、商業の現状は厳しいものがある。

全国果樹農業界のリーダー

高門嘉夫留氏が逝去



媛県青果農協連会長、六十年日本園芸農協連会長などに就任。愛媛県のみならず、全国果樹農業界のリーダーとして活躍されてきました。

また、四十六年からは連続して県議会議員に当選。現在四期目。建設・農林水産・議会運営の各委員長をはじめ、自民党県連政調会長などの要職を歴任され、行政面にも多大の貢献をされました。

喪主は三男清彦氏。葬儀は二月十日に伊方町民会館大ホールで地元告別式が、十五日には松山市鴨川中学校体育館で合同葬が行われました。紙上からご冥福をお祈り申し上げます。

福田町長談話

不世出の指導者

町民とともに心からこめい福をお祈りしたい。資質・努力・決断・実行を兼ね備えた不世出の指導者として、郷土の誇りとする人材だった。これから一層ご尽力いただきたく思います。誠に残念でならない。

郷土のために尽くしていただいたご功績に対する感謝の念と、哀悼の誠をささげたい。

愛媛県議会議員など数多くの要職に就かれ活躍されていた高門嘉夫留氏(川永田一五十八歳)が、二月六日午前四時十九分、急性心不全のため入院先の松山赤十字病院で亡くなられました。昨年九月二十九日から同病院に入院、療養中でした。

高門氏は、昭和四年一月十一日に伊方町川永田に生まれ、三十八年伊方町農協組合長、四十五年西宇和青果農協組合長、五十二年愛

滞納すると医療費全額負担

国民健康保険法が改正

4月からは保険証も2種類に

今年一月一日から老人保健法並びに国民健康保険法が改正され、老人医療費の一部負担がアップし、保険証の交付も変更になりました。

医療費などの取り扱いは一月一日からすでに始まっています。国民健康保険証の交付は現在のものの有効期限が三月三十一日のため、新しい保険証の交付は四月一日になります。主な改正点は次のとおりです。

老人医療費関係

老人医療費関係では、お年寄り(七十歳以上)が病院などで診療を受けたときは一月八百円となりました。入院の場合も少しアップしています。

(一)外来受診の場合の一部負担額：一カ月八百円(旧四百円)
(二)入院した場合の一部負担額：一日四百円(旧三百円)

国民健康保険関係

従来、国民健康保険被保険者証は同じものを全世帯へ交付していました。今回の改正

保険税を期限までに納めていない世帯には、国民健康保険被保険者資格証明書が交付されます。この資格証明書が交付されると、医療費の支払い方法が

滞納世帯には

で、保険税の納付状況によって被保険者証と被保険者資格証明書の二種類になり、医療費の支払い方法も変わります。

このほか細かい規定が設けられました。詳しいことは役場住民課保健医療係、また国民健康保険税については財務課係係へお尋ねください。



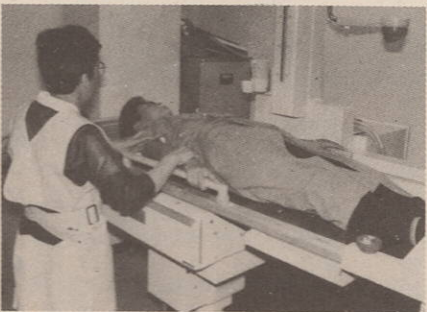
治療を受けた費用全額、窓口支払いになると大変です

滞納者は3月中旬に通知書

本町の国民健康保険加入者は今年1月1日現在1,754世帯で5,168人の被保険者がいます。人口全体に占める割合は約60歳です。

今回の改正で、国民健康保険税を納付していないため被保険者資格証明書の交付が見込まれる世帯には、3月下旬に税金の納付相談通知書を送付する予定です。

この機会に税金は期限までにきちんと納めましょう。



病気になる必要な治療も...

納税済世帯は

保険税をきちんと納めている世帯は被保険者証が交付されます。滞納した人と違って、医療費の支払い方法も今までどおり病院などの窓口で三分割を支払えばよいことになっています。

ただし、被保険者証を交付されていても年度途中から保険税が滞納になれば、交付している被保険者証を返還していただき、新たに資格証明書が交付されることとなります。

町の決算報告

町づくりに58億円が

一般会計は20年連続の黒字

先ごろ開かれた第百二十七回定例町議会で、昨年度の決算が認定されました。

町には一般会計など七つの会計があります。昨年度の決算状況は左表のとおりです。これを見ますと、町へ入ったお金の総額は五十九億五千二百円、使ったお金が五十八億三千四百二万円。差し引き七千四百

また、使ったお金を町民一人当たりに換算すると約四十九万円、一戸当たりでは約百六十万円になります。

特別会計

町の特別会計には、国民健康保険事業など六つの会計があります。

これを見ますと、二年連続赤字だった国民健康保険事業は黒字になったものの、老人保険事業は唯一赤字決算となりました。

各会計の決算状況

	歳入額	歳出額	差引
一般会計	41億9,739万円	41億7,208万円	2,531万円
国保会計			
事業	6億1,664万円	5億7,909万円	3,755万円
直診	2億0,831万円	2億0,821万円	10万円
老人保健会計	4億0,956万円	4億1,715万円	△759万円
学校給食会計	4,190万円	4,190万円	—
港湾整備会計	390万円	390万円	—
住宅資金会計	1,105万円	1,105万円	—
水道事業会計	4億1,277万円	3億9,774万円	1,503万円

民話と伝説

取材先/田之浦 補作/岡村 豊
挿絵/山本一路(湊浦)

(41)

ドウノクボの白蛇

田之浦 (石見)

その寺屋敷跡にはな、昔から、大きな白蛇が巣ごもりしておいて、いつも、とぐろを巻いておたそうです。ある時に、その寺屋敷跡へおそるおそる様子を見に行ってみたら、とぐろを巻いておるはずの白蛇が、見当りません。それには、よく見ると、この寺屋敷跡を掘りお

物が見えてあるとか、どうかで、その人かどうかわからんけんども、あちこち尋ねまわつて来て、何か掘りおこして持ち帰ったんじやなからうかという噂話もありましたのです。それから後、急に白蛇が、どうもおらんようになつたら



その寺屋敷跡も、今では畑になつておりまして、甘夏や伊予柑を作つておりますのじやが、唯一、素焼きの小さな祠が残つておるだけですが

協力者……
渡辺馬治さん(田之浦)
山下春義さん(田之浦)

加周の方から、国道沿いに車で西に向かって走りよつたら、田之浦の次に石見というところがあります。ここにはな、昔からの言い伝えに小字で「ドウノクボ」といひまして、そこが昔からの寺屋敷跡じやといわれとりま

こした形跡があつたといひます。のちになつて聞いたのじやが、どこか九州あたりの人で、その人が夜寝ておつた

から五百〜六百メートル下つた石見の浜では、どこかよから船で来たのか、松明をたいて歩いたのじやなからうかというよな、浜から寺屋敷跡に行く道のところどころに「ほがり」が落ち

しよな。畑には、大きな石だけしか残つておりませない。この石見には、あちこちに小さな祠がありましてのじやが、平家の落人を祭つたものじやい

この寺屋敷跡の上の方の山にはな、昔からの石積みをした所がありまして、岩跡とか、見張り場跡とかいわれるともあるのじやが、山は大藪になつても入つても行かれませなや。

昔からの言い伝えではあるのじやが、お寺跡には間違ひなからう思ひ。宝物があつたか、人骨が出たか、それはわかりませませんが、今におき、この場所を「寺屋敷跡」と皆が

正しく早めに

2月23日から地区巡回で相談

国民健康保険税

町国民健康保険に加入し

税金が戻ることも

所得税の確定申告

わたしたちは毎年、所得のあるなしにかかわらず、税務署か町のどちらかに所得申告しなければなりません。個人が所得申告をして納める税金には、所得税(国税)、住民税(町県民税)、国民健康保険税の三種類あります。ここでいう申告は、町へ申告する住民税と国民健康保険税で、税務署が扱う所得税の確定申告は下欄で紹介しています。

町や県へ納める税金。所得の額が、扶養などの控除額より多いときは一定の率でかかります。扶養・基礎控除額はそれぞれ二十六万円です。また、事業をしている人や土

決めた税金はきちんとなめなければなりません。途中で会社を退職したり、病など多額の医療費を支払つたときには納めた税金が戻つてくる場合があります。

地、建物などを売つた人は申告しなければなりません。この申告が所得税の確定申告です。

月日(曜日)	時間	行政区名	場所
2月23日(月)	9:30~12:00	大成	大成集会所
	13:00~16:00	鳥津	鳥津集会所
24日(火)	9:30~12:00	古屋敷	古屋敷集会所
	13:00~16:00	田之浦	田之浦集会所
25日(水)	9:30~12:00	二見	二見集会所
	13:00~16:00	加周	町立二見公民館
26日(木)	9:30~12:00	向奥	向奥集会所
	13:00~16:00	久保・西	西・久保集会所
27日(金)	9:30~12:00	須賀	町見公民館
	13:00~16:00	川永田二	新川集会所
28日(土)	9:30~12:00	湊浦二	湊浦二集会所
	13:00~16:00	中浦	中浦集会所
3月3日(火)	9:30~12:00	小中浦	小中浦集会所
	13:00~16:00	伊方越	伊方越集会所
4日(水)	9:00~12:00	伊方越	伊方越集会所
	13:00~16:00	亀浦	亀浦集会所
5日(木)	9:30~15:00	大浜	大浜集会所
	9:30~15:00	川永田一	川永田一集会所
6日(金)	9:00~15:00	河内	河内公民館
	9:30~12:00	豊之浦	豊之浦集会所
7日(土)	9:30~12:00	仁田之浜	仁田之浜集会所
	13:00~16:00	中之浜	中之浜集会所
8日(日)	9:30~12:00	湊浦一	湊浦一集会所
	13:00~16:00	湊浦一	湊浦一公民館

また、家を新築したり土地を売つたりした人は税額が増えますので申告の際に係員に確認をお願いします。

六日までです。〔申告用紙〕申告用紙は税務署と役場財務課にありませ。あらかじめ申告しなければならぬ人は、税務署から直接送付されることもあります。

〔問い合わせ先〕詳しくは八幡浜税務署(二二〇八〇〇)までお尋ねください。



納税相談所が開設

八幡浜税務署では、三月二日に出張納税相談所を開設します。税務署から直接通知のあった人、申告について尋ねたい人はご利用ください。

〇日時 三月二日(月)・午前九時〜午後四時まで
〇場所 伊方町民会館三階研修室

健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

自分の歯

日本人の平均寿命が伸びて八十歳近くになり、世界の長寿国になりました。人生五十年と言われた昔に比べて隔世の観があるように思われます。それは歯の寿命はどのくらいかご存じでしょうか。

日本人の大部分が六十歳位までに自分の歯をほとんど失なってしまうと言われております。しかし歯が一本残っていたとしても噛むことは出来ませんから、実際に歯が使えない状態というのにもっと年齢が下がることになりませ。とすると、人生の三十年以上は「入れ歯」に頼つて暮らすことになりませ。人間の欲には食欲・食欲などがありますが、年とともにそれも失せてきます。最後まで

で残つて、しかも一日に三回も楽しませてくれるのは食欲です。歯は味覚にも影響しますから、自分の歯でおいしく食べられるのは最高の幸せです。では、一生自分の歯で食べるためにはどうしたら良いのでしょうか。

やっぱり「歯磨き」しかないのです。一般的には食後、約三分間づつが理想的と言われますが、面倒に思える人が多いかも知れませ。それで、むしろ一日に一回夜寝る前に十分間、丁寧に磨くのです。方法としては、歯二・三本を一緒にたわしでゴシゴシする様に行ひませ。四・五本一緒にたわしで磨いては行ひませ。歯磨き粉はつけてもつけなくてもかまひませ。歯の汚れ落としにはほとんど関係ないと思ひませ。そして、朝と昼はうがいので済ませませ。甘い物を食べた後は必ずお茶や牛乳などを飲むことを勧めませ。これらは決して難しいことではありません。まずは毎日の生活にあつて、自分の歯を大切にしようという心掛けです。これが習慣化につながります。

自分の歯こそ食物をおいしくいただく、健康を維持し、長寿でいられることの秘訣なのです。

町田医師(九町歯科)

近くのよき相談相手

新しい民生委員25人決まる

任期満了に伴う民生委員の改選が行われ、十二月一日付で次の二十五人が選ばれ厚生大臣から委嘱書が交付されました。

今後三カ年、それぞれの地域で皆さんのよき相談相手として福祉向上のためにご尽力いただきます。なお、民生委員の方々は次のとおりです。

- | | |
|--------------|-------------|
| 米澤 彦志(仁田之浜)新 | 堀内 三和(向)再 |
| 上野 進(河内)再 | 脇田 忠剛(畑)再 |
| 佐々木一興(湊)再 | 渡辺利喜馬(須賀)再 |
| 山神 朝光(湊)再 | 松田 福栄(久保)再 |
| 吉本 武(小中浦)再 | 高木 末廣(西)新 |
| 門田 俊男(伊方越)再 | 鳥津 鶴巳(二見)再 |
| 清家 一俊(亀浦)新 | 古田 百代(加周)再 |
| 山本 優(中浦)再 | 山下マサコ(田之浦)再 |
| 篠川 勝子(川永田)再 | 佐々木重實(古屋敷)再 |
| 登口 良憲(川永田)再 | 二宮 都子(大成)再 |
| 河野 吉一(豊之浦)再 | 鳥津 増子(鳥津)再 |
| 三根生竹信(奥)新 | |

第四十六回全国教育美術展(財教育美術振興会主催)が昨年十二月に開かれ、伊方中学校は出展六十点のうち十二点が特選になりました。

これで団体として最上位の中央学校賞は三年連続の快挙。二月二十七日に東京で開かれる受賞式には楠井教頭が出席することになっています。

個人の入賞者は次のとおりです。

伊方中が全国表彰

幼・小・中学校三千五百十一校から十四万九千二百二十九点の応募があり、伊方中学校は出展六十点のうち十二点が特選になりました。



大切に移転。数日後には前かけも...

工事で引っ越し

九町の地ぞうさん

九町地区六部落では一月二十七日に地ぞう様(八十八カ所)の大移転を行いました。

新国道や南予用水の工事に伴い、半数以上の移転が必要となったため、この機会に回りやすい場所に置き替えたものです。当日は関係役員六十人あまりが九町天徳寺に集

まり、移転説明のあと七班に分かれて出発。まず、移転する地ぞう様の供養をしたあと、トラックに積み込んで町見中央農道を中心とした道端の見えやすい場所に安置しました。

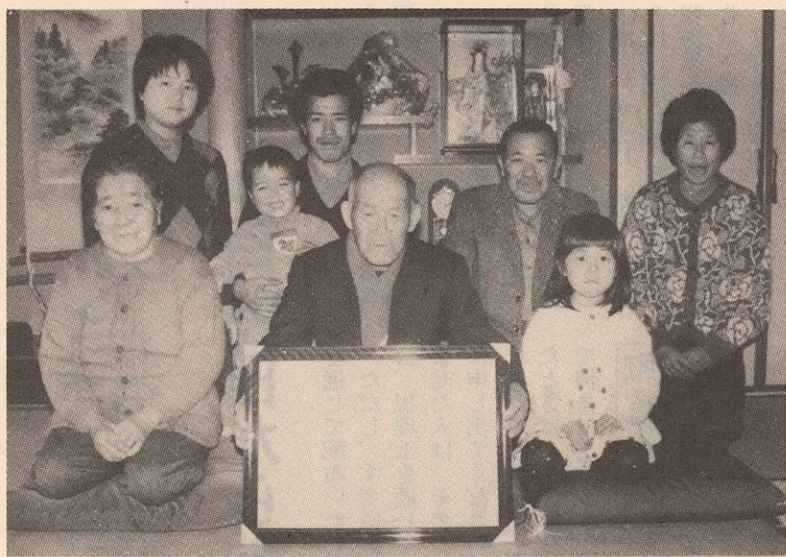
このあと、天徳寺と三宝寺の住職が入魂して回り移転を完了しました。

九町の八十八カ所は明治初

期に地区の有志が寄贈設置したものです。町見農協前から始まり、三宝寺、町見中央農道、町道九町九町越線を通って天徳寺が終点となっています。

町内でも、こうした地ぞう様はよく見かけます。まともなものは三十三カ所や八十八カ所と呼ばれ、二見や河内など六コースあります。

スポーツ



3世代8人が集合。表彰状を手に喜びの辻さん一家

えひめ家族賞

3世代わきあいあい

豊之浦の辻藤吾さん一家

三世代夫婦が同居し、健康的な生活を営む家族をたたえる「えひめ家族賞」に豊之浦の辻 藤吾さん一家が選ばれ、先ごろ県庁で行われた受賞式に一家八人が出席。知事から表彰を受けました。

えひめ家族賞は、県が五十二年から実施しているもので、今年五十一家族が表彰されました。本町からの受賞は初めてのことです。

辻さん一家は、世帯主の藤吾さん夫婦、長男の喜多一さん夫婦、孫の憲さん夫婦とひ孫二人の大家族八人が同居しています。三家族がいつしよに生活するようになったのは、孫の憲さん夫婦が帰郷した四年前の五十八年一月からのことです。

家業は漁業。現在は第一線を退いた藤吾さん(八十歳)に変わって、喜多一さんと憲さんの二人が中心で、小型底びき網漁にたずさわっています。

それぞれに性格も異なり、「いつもそばにいたらよいことばかりではないが、できるだけ隠しごとをしないようにしています」と、家事のまとめ役をする美喜子さん(喜多一さんの妻)は話していました。

家族が多いため家事も分業でき、思ったより楽だそうで、どこからか話し声が聞こえ家の中が明るいそうです。

いつまでも、三世代仲よく暮らしてほしいものです。

ビデオ手に大喜び



中之浜の城 澄子さん(四十四歳)と中浦の福島優子さん(十六歳)がお年玉付年賀はがきの一等に当選。一月二十七日に伊方郵便局で賞品のハイファイビデオを受け取り

城・福島さん 一等当選

ました。(写真上)

城さんは町内の知人から、福島さんは保内町の同級生から届いたもので、二人とも「いつも切手シートくらい。まさか何回も見直した」と、うれしさいっぱいでした。

伊方郵便局管内での二等当選は久しぶり。一度に二人も当たったのは初めてのことで、また、畑の井田与志威さんは二等の電子レンジが当たり、一月二十六日に町見郵便局で贈呈されました。

夏でもないのに...

ヒマワリ満開

田之浦の古田さん宅



ヒマワリに水をやる古田さん

田之浦の古田衛さん(三十八歳)宅の庭に、季節はずれのヒマワリが咲いています。

ヒマワリといえば夏のイメージ。太陽神のシンボルとして尊重されているくらい、太陽との結びつきが深い花です。春に種子をまき、七月ごろ

に咲くのが一般的。奥さんのふさみさんに聞いてみると「去年の十一月ごろから成長を始め、年が明けるとつぼみの中から黄色の花びらが見えるようになり、一月下旬には直径三十センチの花になった」とのこと。まさか今の時期に花が咲くとは思っていませんでした。

古田さんは、去年初めてロシアン系の種子をまき、花が済んでも一部はそのままにしていたそうです。今年はまだ種子をまいておらず、去年落ちたものが暖冬のせいで芽を出し、花をつけたのではないかと話していました。

ほかにも数本、咲いたり成長しているものもあり「当分ヒマワリが楽しめそう、なんだかにぎやかになった感じがする」と、大喜びです。

山神さん(湊) 福祉功労で表彰

このほど、湊浦の山神朝光さん(六十六歳)が全国民生委員協議会長表彰を受けました。

山神さんは昭和四十二年から十八年以上にわたり、町の民生委員として社会福祉の向上に努められました。おめでとうございます。

20歳の声

(はたち)

166人が大人の仲間入り

今年から同学年単位の成人式

一月十五日は「成人の日」でした。この日、大人の仲間入りをする皆さんを祝い励ます成人式が行われました。

本町の成人式は町民会館で午前十時から行われ、新成人六十九人が出席。福田町長や栗田教育委員長などの激励、来賓多数の祝福を受けました。

このあと、新成人代表の山下恵子さん(湊浦)の誓いのことば、新成人と青年団代表による意見発表などがあり式典を終了しました。

この日成人式を迎えた新成人は全国で百四十万人。県内では一万八千七百三十八人でした。

本町では昨年より八十四人



誓いのことばを読みあげる新成人代表の山下さん

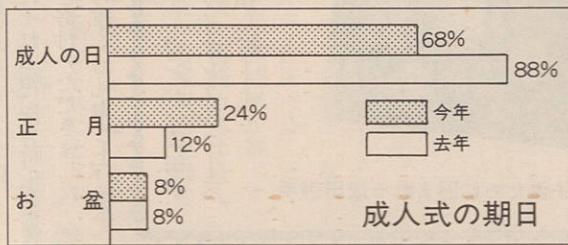
も増え、百六十六人が大人の仲間入りをしました。これは、今年から対象者を同学年単位にしたこと、町外から帰って本町の成人式に出席したいという希望者が増加したためです。

なお、今年も成人者を対象にアンケート調査を行いますので下欄で紹介いたします。

新成人アンケート

- ▽現在の成人式をどう感じていますか。
 - 意義がある 四八
 - 形式化されている 五二
- ▽成人式の期日は、いつがよいと思いますか。
 - 成人の日 六八
 - 正月休み 二四
 - 盆休み 八
- ▽本町の成人式には、女性は何着の出席をお願いしていますか。
 - 今までのまま 四四
 - 服装は自由に 四八
 - 心から話し合える友達はいませんか 九二
- ▽現在恋人がいますか。
 - いる 二八
 - いない 七二
- ▽あなたが結婚するとき、恋愛結婚 九六
- 見合い結婚 四
- ▽伊方町民であることをどのように感じていますか。
 - 喜びと誇り 一六

正月休み派? 増える



特別の意識はない 八四

▽広報「伊方町」を読んでいますか。

- よく読んでいます 二二
- 時々読んでいます 六四
- 読んでいない 二四

▽町政について意見や要望があれば簡単に

○活気のある町づくりを

▽町の仕事で一番先に手がけてほしいことは。

○町民グラウンドの設置

このアンケート調査は新成人百三十六人に成人式の案内状とともに送付して、解答のあった二十五人分(男十一人、女十四人)を集計したものです。

無解答分は割合に含めず、意見や要望は多いものを取りあげました。

- 道路・交通網整備
- 南子用水事業
- あなたの生活信条は。
 - 努力
 - 継続は力なり
 - 初心忘るべからず
- ▽成人という言葉で真っ先に浮かんだことは。
 - 大人の仲間入り
 - 選挙権
 - 自覚
- 理想の男性像は。
 - やさしい人
 - 男らしい人
 - 頼りがいのある人
 - 理想の女性像は
 - やさしい人
 - 思いやりのある人
 - しっかりしている人

大きな責任が

鳥津正浩 (鳥津)



二十歳になり、大きな権利を持つと同時に、大きな責任を負うことになりました。不安はありますが、他人に迷惑をかけず、自分に厳しくありたいと思います。

わたしは一時、大阪に

目標に向って

高田寿美 (西)



先のことだと思っていたのに、もう成人式を迎えることになりました。これからは、一人の大人として義務や責任を持つたなくてはなりません。まだ学生のため、自分に甘えた部分がたくさんあります。

失敗を恐れず

篠川 努 (川永田)



成人式を迎え、社会的には大人になれたため、大変うれしい気持ちです。しかし大人としてまだまだ精神的に未熟なため、不安な気持ちもあります。これから辛いことや苦しいことがたくさんある

まちの地名考①

がさまで、地形語ではないようである。また、「イカ」は山ろくなど後方に山を負うところに見られる地名で、「タ」は土地の意味である。後に山をかかえた地形から名づけられたとも。

さらにはアイヌ語の IKA(山越え、陸を越す)の意味だという説もあるが、四国の地名をアイヌ語で解くことはどうだろうか。

このほか「イヘカタ」(家方)か「イホカタ」(庵方)で、もと仮小屋のあったところをいうか、農業の小屋であったかも知れない。



地名の由来に多い地形、方言などから探ると、次のような見方ができる。

日本地名源事典の「イカタ」「イガタ」(伊方、伊形)の項に豊前国(福岡県)田河郡に伊方庄、愛媛県の海岸にも伊方が見られる。また、宮崎県延岡市にある伊形は「日向国園田帳」建久八年(一九七一年)の伊形(イカタ)による。土地から

伊方町誌改訂版から係から

今月から町内の地名由来を連載することにした。今回は「九町」の予定ですが、ご意見をお聞かせください。

もうすぐ! 内容充実の伊方町誌改訂版

二年前の五十九年十二月から改訂編集を進めていました伊方町誌の発行が間近に迫りました。

本の型式は現町誌と同じで、内容も充実。ページ数はボリュームアップして今までの二倍の一千五百ページ前後になります。具体的な発売日や価格などは決まり次第お知らせいたします。ご期待ください。

Young Lobby

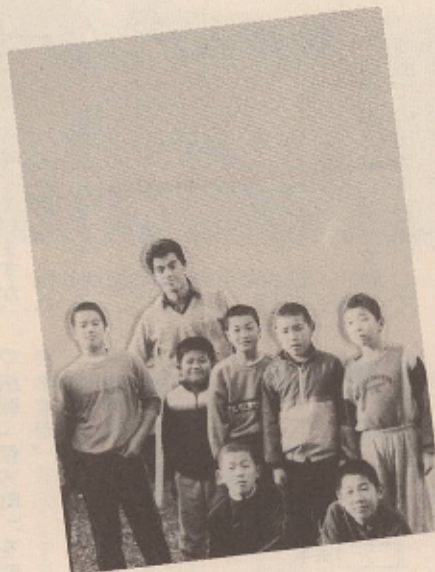
ホップ・ステップ・青春



成田幸洋さん
(中浦出身=25歳)

エースの座目指して

プロ野球といえば、大観衆から脚光を浴びて華やかに見える。しかし、一瞬の判断の差が勝敗の明暗を分ける厳しい世界。力のある者だけが生き残れない。それだ



久しぶりに帰省。子供たちに囲まれる成田選手

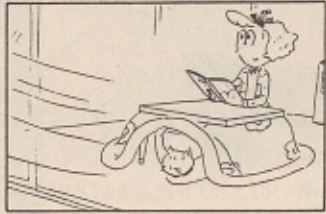
プロ野球の西武ライオンズに、日本一のサブマリン投手を目指して、白球に青春を賭けている若者がいる。その人は成田幸洋さん(二十五歳、中浦出身)である。
成田さんは、伊方中一八高

丸善石油・東芝を経て、昭和五十八年にドラフト五位で西武ライオンズに入団。六十年には二軍で最多勝を挙げ、昨年(六十二年)は勝星にこそ恵まれなかったが一軍で活躍し、優勝にも貢献し

けに、不屈の精神力と人一倍の努力が要求されるのである。本町出身の数少ないプロスポーツ選手。ガンバレ成田!! 西武ライオンズのエースを目指して――。

さわやか君

西村 宗



児童手当法が改正され、昨年六月から新しい制度が段階的に実施されています。二年目の今年、四月一日から次のように支給対象範囲が変わります。

昭和五十九年六月二日以降に生まれた第二子を二人以上養育している人が支給対象です。
四月一日からは昭和五十八年四月二日以降に生まれた第二子(四歳)を含む二人以上の児童を養育している人へと支給対象範囲が拡大されます。新たに支給対象となる人は事前に請求手続きをしてください。

今年三月三十一日までは、昭和五十九年六月二日以降に生まれた第二子を二人以上養育している人が支給対象です。四月二日以降に生まれた児童(九歳)を含む三人以上の児童を養育している人へと支給対象範囲が縮小されます。このため、前記以外のかたは

4月から二人以上に 児童手当の支給範囲変わる

児童手当法が改正され、昨年六月から新しい制度が段階的に実施されています。二年目の今年、四月一日から次のように支給対象範囲が変わります。

町内の交通事故

2月1日現在

発生件数.....6件
負傷者数.....3人

昨年一年間の町内の交通事故件数は五十七件(前年比十三件減)、負傷者二十五人(前年比三人増)でした。発生件数は大幅に減少したものの、負傷者は増加しています。特に死亡事故が三件も発生した最悪の年でした。今年こそ、こうした痛ましい事故が起らないようにしたいものです。

伊方・町見駐在所

香典返し

梶田さん20万

久保の梶田佳明さん(町政策局長)から、先ごろ亡くなられた御尊父様の香典返しに二十万円の寄付がありました。町では、さっそくまごころ銀行に預託。社会福祉関係に活用させていただくことにしました。紙上から厚くお礼申し上げます。

伊予郡砥部町五本松にお住いの森元芳夫さん(奥出身)から一万円。
東京都千代田区神田多町二一六にお住いの清家明さん(亀浦出身)から一万円。
八幡浜市千代田町にお住いの西本正勝さん(中浦出身)から一万円。
埼玉県越谷市千門台西三二四にお住いの神山巖さん(田之浦出身)から一万円。
それぞれ広報「伊方町」編集費用にと寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

お礼

人の動き

人口 8,657人 (男4,232人(+23人) (+31人) 女4,425人(+8人))

えんむすび

昭和61年12月1日
12月31日
氏名 本籍地

お誕生おめでとう
よい子に
育ってください
昭和61年12月1日
12月31日

おくやみ

昭和61年12月1日
12月31日
死亡者 年齢 住所

情報ボックス

通信教育

NHK学園では通信教育の受講生及び生徒を募集しています。
▽生涯学習講座
書道・囲碁など三十二講座。
▽高等学校：普通科
▽高等学校：教養
案内書をご希望のかたは近くのNHKまたは、東京都国立市富士見台一三三NHK学園八E十一係へ(〇四二五―七二一〇三二五)へ。

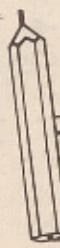
新入寮生

南子明倫館では、南子出身の子弟で東京都及びその周辺の大学に在籍する男子の入寮生を募集しています。問い合わせは東京都小金井市中町四丁目一八二六(〇四二二―三八三―九八三五)。

住宅資金

県年金福祉協会ではマイホーム資金の融資受付を行っています。最高は一千万円、年利五・七五%です。問い合わせは愛媛県年金福祉協会(〇八九九―四一―七六六七)へ。

こちら編集室



一月二十三日、県庁で開かれた昭和六十一年度愛媛県広報コンクールで、広報紙町村の部(II)と組写真の部で特送になりました。

広報紙は昨年二月に発行した第二百八十二号で、大浜に完成した畑地かんがい施設や新国道九町―二見間の開通を取り上げたものです。特選の二作品は県代表として全国コンクールに推せんされました。これを励みに親しみのある広報紙づくりに努めます。ご協力ください。